

2007 年度大学院 GP 「国際連携を核とした先導的技術者の育成」

シンポジウム

## 『グローバルイゼーションにおける建築のサステナビリティデザイン』

Symposium / Sustainability of architectural Design in Globalization

### プログラム

現代の建築設計を巡る環境には、大きく 2 つの動きがみられる。一つは、グローバルイゼーションに対応する動きであり、もう一つは、地球環境に配慮したサステナビリティへの取り組みである。

建築のサステナビリティを実現しようとするときには、気候風土や生活習慣をよく理解する必要がある、そのためにはその場に留まりながら設計することが必要と考えられてきた。しかし、設計をめぐるグローバルイゼーションの状況の下、建築家はより流動的な作業環境におかれることを余儀なくされている。

このようにグローバルイゼーションとサステナビリティが同時に求められている現代は、ある意味矛盾する状況であると考えられるが、これにどのように向き合っていくかが、これからの建築設計の鍵となると考えられる。

このシンポジウムは、日本を拠点とし世界で活躍する建築家たちを招待し、設計の現場とその設計思想についてのプレゼンテーションと意見交換を通して、今後の建築意匠論の指針を得ることを目的とするものである。

**講師：** マーク・ダイサム（クライン・ダイサム・アーキテクト主宰）

早野 洋介 （MAD Tokyo 主宰）

金田 充弘 （東京芸術大学准教授 , Ove Arup & Partners）

**司会：** 塚本 由晴 （東京工業大学大学院准教授）

**場所：** 東京工業大学 緑が丘講義棟（M011）

**日時：** 2008 年 3 月 15 日（土曜日）

13:20- インTRODakション 講師紹介

13:30- 講師によるレクチャー（45 分×3 名）

15:50- ディスカッション

17:30- 質疑応答

18:00- 懇親会

**主催：** 東京工業大学大学院 2007 年度大学院 GP